

広げよう！優良実践の輪！

～平成30年度 優良実践校の取組～

取組 7

規範意識の向上と学びの推進

津山市立高野小学校

1 はじめに

本校は数年前まで、生徒指導に力のある学校で、教職員が丸となつて学習環境の改善を図ってきました。「規範意識の向上と学び合いの推進」を指導の重点に掲げ、具体的な取組を示して課題を解決していこうと実践を重ねてきました。

2 めざす子ども像の現実化

(1) よく聴き自分で考える子どもで聴く、心で聴くことをねらいとし、基本的なことですが日頃から話す人の方に体を向けて、反応(頷く等)しながら聴く習慣をつけています。全校児童が集まる集会でも静かに集話し、集中して話を聴くことができるようになってきました。

(2) 話し合い、力を合わせる子授業中に自分の考えを書いたり説明したりする時間を確保し、ペアやグループで話し合うことで更に個人の思考を深めています。会話をすることはお互いに理解し合うということにも繋がっています。

(3) 夢や希望に向かって最後までやり抜く子

最後まで頑張る力は、友達や教師、保護者等に認められ励まされ、「自分を理解してくれている」と感じることで生まれるものだと思います。全校的

な取組を意図的に仕組み、できたら力強く褒め自己有用感を高める実践を行っています。

3 具体的な取組

【表彰1】毎月児童朝礼で表彰

①歌声ナンバーワン

②くつそろえナンバーワン

③話の聴き方ナンバーワン

④一列で登校できたでしょう

⑤自主学习ナンバーワン

【表彰2】放送等で表彰

①あいさつ運動

②プロ掃除士

4 おわりに

学びを支えるには規範意識の向上が不可欠であり、安心して学ぶことのできる環境を整えることが重要です。本校では、目指す子ども像を児童に示し、児童自ら経過と結果がわかる具体的な取組を実践することで規範意識を高めました。一つ一つの取組を頑張ろうとする意欲が高まり、実行し称揚されることで更なる自信と自己有用感の高まりに繋がっています。また、高学年がよい見本になることで、その良き伝統が脈々と高野小学校に受け継がれていくという好循環が回り始めたと感じています。

ます。年々若い教師が増加する中で、若さが未熟さとしてではなく、元氣や勢いといった良い方向に表れており、その隙間をベテラン勢が補うことで、全職員で学力向上に取り組んでいます。これからも一人一人の児童が秘めている可能性が花開くことを信じて学び合いを推進します。

(校長 井上新子)

「学校教育目標」

自ら考え ともに伸びていく 心豊かな子どもを育てる

「目指す子ども像」

- ・よく聴き、自分で考える子
- ・話し合い、力を合わせる子
- ・夢や目標に向かって、最後までやり抜く子

「指導の重点」

規範意識の向上と学び合いの推進

- ① 進んであいさつ・歌声の響く学校
- ② チャイムスタート
- ③ だまってぞうじ
- ④ 目で聞く(聞き方・姿勢・立腰)



11月歌声チャンピオン(全員)

規範意識の向上と落ち着いた学習環境

美作市立作東中学校

1 はじめに

本校は県の北東部に位置しており生徒数127名の小規模校です。保護者や地域住民の方々のご支援をいただきながら「連携」をキーワードに、温かい教育活動を展開しています。学区全教職員が参加する「作東中学校区教育連携会」という研究体制を作り、日々連携を深めています。

2 具体的な取組

① 保幼小中が連携した取組

「聴く・考える・伝える」という重点目標のもと、保育園から中学校まで発達段階に応じて、同じ方向で教育を行っています。小中学校では、共通する授業改善の三つの視点（「目標を明確にして活動意欲につなげる」「自分なりの考えを持ってペア学習や班学習を行う」「授業内



中学校教員によるプログラミング授業

容と家庭学習をつなげる授業構成を行うことを意識した授業実践を行っています。昨年は、中学校で小学生と体験授業を行い、苦手意識の高い算数から数学へつなぐ取組をしました。

また、生徒指導部では、「挨拶・返事・靴そろえ」を保幼小中で取り組んでおり、年齢が上

がるにつれて基本的な生活習慣の定着や規範意識が高まってきています。

② 地域・保護者と連携した取組

本校では、地域学校協同本部事業、放課後サポート事業、土曜教育支援事業を活用して、地域の支援者や地元の高校生に学習サポートをしていただいております。落ち着いた学習環境の中で、学力向上の成果を実感してきました。その他にも、保護者と子どもがスマートフォンやゲームとの向き合い方を学ぶ取組も行っていきます。また、朝のあいさつ運動や、参観日の地域開放等を通して、地域の方々にも温かく見守っていただいています。職員も地域と共に学校を創る意識が高まり、確かな成果を感じています。

③ 生徒会活動の充実

生徒会や委員会などで生徒が主体的に活動できるように多くの場面を設けています。運動会や音楽会などの学校行事等は生徒会を中心に展開しており、人権集会では小学生を招いて共に議

論し、アンケートを実施するなど独自の活動も行っています。行事を通して様々な方々に、成長する生徒の姿を見て評価していただき、生徒達の自己有用感も徐々に高まっています。



生徒が運営する生徒集会

3 おわりに

今後も、これまで以上に「連携」を基盤とした落ち着いた学習環境を大切に、児童生徒の学力向上に取り組みます。そして、生徒・保護者・地域・学校が力を合わせて更なる高みを目指します。

(校長 新免道明)